

令和5年度

授業シラバス・
年間指導計画

英語

(2年)

令和5年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科2年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
英語	英語コミュニケーションⅡ (L英コミュ)	3	教科書: LANDMARK Communication English II [啓林館] 副教材: 教科書準拠ワークブック [啓林館]

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	<p>Lコースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅡではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。音読をしっかりとしましょう。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。</p>
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。</p>	<p>場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。</p>
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	<p>教養力: 幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力: 論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力: 思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力: 多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力: 自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な評価方法	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

通期	<p>L1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan</p> <p>L2 A Message from the Emperor Penguins</p> <p>L4 Seeds for the Future</p> <p>L5 Language Change over Time</p> <p>L6 Gaudi and His Messenger</p> <p>L7 Letters from a Battlefield</p> <p>L8 Edo: A Sustainable Society</p> <p>L9 Biodiesel Adventure: From Global to Global</p>	<p>文章を通して補語になる分詞のSVOCと補語②なる分詞のSVCの意味や構造を理解する。海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、概要を把握することができる。</p> <p>文章を通して比較級の表現や未来完了形、比較を用いた構文の意味や構造を理解する。ペンギンの生態について必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。</p> <p>文章を通して付帯状況を表す with+O+α や使役動詞の意味や構造について理解する。種の保全のための取り組みについて様々な意見の要点を把握することができる。</p> <p>文章を通して、that の意味や構造を理解する。時間とともに変化する言葉について、要点を把握することができる。</p> <p>文章を通して、受動態の分詞構文や if を使わない仮定法の意味や構造を理解する。ガウディと外尾さんについて書かれた文章を読み、要点を把握することができる。</p> <p>文章を通して副詞節を導く複合関係代名詞や完了不定詞の意味や構造を理解する。戦場からの手紙について必要な情報を読み取り、概要を把握することができる。</p> <p>文章を通して、注意すべき関係代名詞の用法や独立分詞構文の意味や構造を理解する。江戸時代の持続可能な社会について書かれた文章を読んで概要を捉えることができる。</p> <p>文章を読み、完了形の分詞構文や強調構文の意味や構造を理解する。山田周生さんの取り組みに</p>	<p>自分が驚いた日本文化について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。</p> <p>気候変動の影響により絶滅の危機にある動物について意見交換をする。自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。</p> <p>固定種の利点について F1 種と比較しながら、自分の意見を伝え合うことができる。</p> <p>英語または日本語における言葉の変化の実例について情報や考えを伝える文章が書ける。</p> <p>ガウディと外尾さんについて自分の考えを書いて伝えることができる。</p> <p>戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について自分の考えを伝え合うことができる。</p> <p>製品の再利用の具体例について、自分の意見を伝え合うことができる。</p> <p>日本のエネルギー消費における問題点とその解決法について自分の考えを伝え合うことができる。</p>	<p>海外の視点から見た日本の不思議について自分の考えを話して伝えることができるようにする。</p> <p>自分の関心のある動物とその動物から学んだことについて自分の考えを話して伝えることができるようにする。</p> <p>日本の食料自給率について自分の考えを話して伝えることができるようにする。</p> <p>英語または日本語における言葉の変化の実例について自分の考えを伝えることができるようにする。</p> <p>ガウディと外尾さんについて自分の考えを伝えることができるようにする。</p> <p>戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について自分の考えを伝え合うことができるようにする。</p> <p>日常生活の中で「もったいない」と思うことについて、自分の意見を伝え合うことができるようにする。</p> <p>山田周生さんの意見について自分の考えを伝え合うことができるようにする。</p>
----	---	---	---	--

	<p>L10 Our Future with AI</p>	<p>ついて書かれた文章を読み、要点を把握することができる。</p> <p>文章を読み、過去についての推量や as if を使った仮定法の意味や働きを理解する。AI とその活用について書かれた文章を読み、必要な情報を読み取り概要を把握することができる。</p>	<p>人間とAIの共存のためにどのような法律が必要かについて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。</p>	<p>AI と今後の将来について、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるようにする。</p>
<p>備考</p>				

令和5年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科2年 シラバス

教科名	科目名 (校内名称)	単位数	教材
英語	英語コミュニケーションⅡ (R 英コミュ)	3	教科書: LANDMARK Communication English 11 [啓林館] 副教材: 教科書準拠ワークブック [啓林館] NEW TREASURE ENGLISH SERIES STAGE 4 (Z 会出版)

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらをつなぎ付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	Rコースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次に身につけたことを土台にして、少し長めの文を論理的に読むことを大切にしましょう。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	教養力: 幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力: 論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力: 思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力: 多様な他者とコミュニケーションをとり協力をする力 省察力: 自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

<p>L1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan</p>	<p>文章を通して補語になる分詞の SVOCと補語②なる分詞の SVCの意味や構造を理解する。海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、概要を把握することができる。</p>	<p>自分が驚いた日本文化について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。</p>	<p>海外の視点から見た日本の不思議について自分の考えを話して伝えることができるようにする。</p>
<p>NT L2 The Hero who refused to be a hero</p>	<p>文章を通して時制の一致や話法の意味や構造を理解する。ヒーローとは何かについて必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。</p>	<p>ヒーローとは何か、人間としてなすべきことは何かについて意見交換をする。自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。</p>	<p>be eager to を用いて自分のことについて書く。</p>
<p>L4 Seeds for the Future</p>	<p>文章を通して付帯状況を表す with+O+αや使役動詞の意味や構造について理解する。種の保全のための取り組みについて様々な意見の要点を把握することができる。</p>	<p>固定種の利点について F1 種と比較しながら、自分の意見を伝え合うことができる。</p>	<p>日本の食料自給率について自分の考えを話して伝えることができるようにする。</p>
<p>NTL3 Different Styles of Encouragement</p>	<p>文章を通して、助動詞の意味や構造を理解する。日本とアメリカの励まし方の違いについて必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。</p>	<p>勉強に疲れているときは日本・アメリカのどちらのやり方で励ましてもらいたいかについて話し合うことができる</p>	<p>would rather A than B を用いて自分のことについて書く。</p>
<p>L5 Language Change over Time</p>	<p>文章を通して、that の意味や構造を理解する。時間とともに変化する言葉について、要点を把握することができる。</p>	<p>英語または日本語における言葉の変化の実例について情報や考えを伝える文章が書ける。</p>	<p>英語または日本語における言葉の変化の実例について自分の考えを伝えることができるようにする。</p>
<p>NTL5 Curling —Chess on Ice</p>	<p>文章を通して、不定詞の意味や構造を理解する。カーリングの歴史とルールについて必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。</p>	<p>何のスポーツをやってみたいかについて、自分の意見を述べるすることができる。</p>	<p>come to do を用いて自分のことについて書く。</p>
<p>L6 Gaudi and His Messenger</p>	<p>文章を通して、受動態の分詞構文や if を使わない仮定法の意味や構造を理解する。ガウディと外尾さんについて書かれた文章を読み、要点を把握することができる。</p>	<p>ガウディと外尾さんについて自分の考えを書いて伝えることができる。</p>	<p>ガウディと外尾さんについて自分の考えを伝えることができるようにする。</p>
<p>NTL6 Pick Up Golden Nuggets of Opportunities</p>	<p>文章を通して、動名詞の意味や構造を理解する。成功を収めた著者のエッセイを読み、概要を把握することができる。</p>	<p>将来やりたいことを実現するためにどんな行動をとるつもりか、自分の勘替えを書いて表現することができる。</p>	<p>I never ~without ...を使って自分のことについて書く。</p>

<p>L7 Letters from a Battlefield</p> <p>NTL8 False Faces</p> <p>L9 Biodiesel Adventure: From Global to Global</p> <p>L10 Our Future with AI</p>	<p>文章を通して副詞節を導く複合関係代名詞や完了不定詞の意味や構造を理解する。戦場からの手紙について必要な情報を読み取り、概要を把握することができる。</p> <p>文章を通して、関係詞の意味や構造を理解する。錯視の解説から始めて思い込みの危険さを理解することができる。</p> <p>文章を読み、完了形の分詞構文や強調構文の意味や構造を理解する。山田周生さんの取り組みについて書かれた文章を読み、要点を把握することができる。</p> <p>文章を読み、過去についての推量や as if を使った仮定法の意味や働きを理解する。AI とその活用について書かれた文章を読み、必要な情報を読み取り概要を把握することができる。</p>	<p>戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について自分の考えを伝え合うことができる。</p> <p>間違っただ思い込みによって誤りをしたことがあるかについて話し合うことができる</p> <p>日本のエネルギー消費における問題点とその解決法について自分の考えを伝え合うことができる。</p> <p>人間と AI の共存のためにどのような法律が必要かについて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。</p>	<p>戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について自分の考えを伝え合うことができるようにする。</p> <p>take ~ for granted を用いて自分のことについて書く。</p> <p>山田周生さんの意見について自分の考えを伝え合うことができるようにする。</p> <p>AI と今後の将来について、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるようにする。</p>
<p>備考</p>			

令和5年度 岡山県立倉敷天城高等学校 理数科2年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
英語	英語コミュニケーションⅡ (L英コミュ)	2	教科書:LANDMARK Communication English II [啓林館] 副教材:教科書準拠ワークブック[啓林館]

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	--

授業形態 アドバイス など	<p>Lコースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅡではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。音読をしっかりとしましょう。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。</p>
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。</p>	<p>場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。</p>
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	<p>教養力:幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力:論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力:思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力:多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力:自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な評価方法	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

<p>通期</p>	<p>L1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan</p> <p>L2 A Message from the Emperor Penguins</p> <p>L4 Seeds for the Future</p> <p>L6 Gaudi and His Messenger</p> <p>L9 Biodiesel Adventure: From Global to Global</p> <p>L10 Our Future with AI</p>	<p>文章を通して補語になる分詞のSVOCと補語②なる分詞のSVCの意味や構造を理解する。海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、概要を把握することができる。</p> <p>文章を通して比較級の表現や未来完了形、比較を用いた構文の意味や構造を理解する。ペンギンの生態について必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。</p> <p>文章を通して付帯状況を表す with+O+α や使役動詞の意味や構造について理解する。種の保全のための取り組みについて様々な意見の要点を把握することができる。</p> <p>文章を通して、受動態の分詞構文や if を使わない仮定法の意味や構造を理解する。ガウディと外尾さんについて書かれた文章を読み、要点を把握することができる。</p> <p>文章を読み、完了形の分詞構文や強調構文の意味や構造を理解する。山田周生さんの取り組みについて書かれた文章を読み、要点を把握することができる。</p> <p>文章を読み、過去についての推量や as if を使った仮定法の意味や働きを理解する。AI とその活用について書かれた文章を読み、必要な情報を読み取り概要を把握することができる。</p>	<p>自分が驚いた日本文化について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。</p> <p>気候変動の影響により絶滅の危機にある動物について意見交換をする。自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。</p> <p>固定種の利点について F1 種と比較しながら、自分の意見を伝え合うことができる。</p> <p>ガウディと外尾さんについて自分の考えを書いて伝えることができる。</p> <p>日本のエネルギー消費における問題点とその解決法について自分の考えを伝え合うことができる。</p> <p>人間とAIの共存のためにどのような法律が必要かについて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。</p>	<p>海外の視点から見た日本の不思議について自分の考えを話して伝えることができるようにする。</p> <p>自分の関心のある動物とその動物から学んだことについて自分の考えを話して伝えることができるようにする。</p> <p>日本の食料自給率について自分の考えを話して伝えることができるようにする。</p> <p>ガウディと外尾さんについて自分の考えを伝えることができるようにする。</p> <p>山田周生さんの意見について自分の考えを伝え合うことができるようにする。</p> <p>AI と今後の将来について、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるようにする。</p>
<p>備考</p>				

令和5年度 岡山県立倉敷天城高等学校 理数科2年 シラバス

教科名	科目名 (校内名称)	単位数	教材
英語	英語コミュニケーションⅡ (R 英コミュ)	2	教科書: LANDMARK Communication English 11 [啓林館] 副教材: 教科書準拠ワークブック [啓林館] NEW TREASURE ENGLISH SERIES STAGE 4 (Z 会出版)

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	Rコースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅡの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年次に身につけたことを土台にして、少し長めの文を論理的に読むことを大切にしましょう。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	教養力: 幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力: 論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力: 思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力: 多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力: 自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

<p>L1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan</p>	<p>文章を通して補語になる分詞の SVOC と補語②なる分詞の SVC の意味や構造を理解する。海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、概要を把握することができる。</p>	<p>自分が驚いた日本文化について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。</p>	<p>海外の視点から見た日本の不思議について自分の考えを話して伝えることができるようにする。</p>
<p>NT L2 The Hero who refused to be a hero</p>	<p>文章を通して時制の一致や話法の意味や構造を理解する。ヒーローとは何かについて必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。</p>	<p>ヒーローとは何か、人間としてなすべきことは何かについて意見交換をする。自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。</p>	<p>be eager to を用いて自分のことについて書く。。</p>
<p>L4 Seeds for the Future</p>	<p>文章を通して付帯状況を表す with+O+α や使役動詞の意味や構造について理解する。種の保全のための取り組みについて様々な意見の要点を把握することができる。</p>	<p>固定種の利点について F1 種と比較しながら、自分の意見を伝え合うことができる。</p>	<p>日本の食料自給率について自分の考えを話して伝えることができるようにする。</p>
<p>NTL3 Different Styles of Encouragement</p>	<p>文章を通して、助動詞の意味や構造を理解する。日本とアメリカの励まし方の違いについて必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。</p>	<p>勉強に疲れているときは日本・アメリカのどちらのやり方で励ましてもらいたいかについて話し合うことができる</p>	<p>would rather A than B を用いて自分のことについて書く。</p>
<p>NTL5 Curling —Chess on Ice</p>	<p>文章を通して、不定詞の意味や構造を理解する。カーリングの歴史とルールについて必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。</p>	<p>何のスポーツをやってみたいかについて、自分の意見を述べるすることができる。</p>	<p>come to do を用いて自分のことについて書く。</p>
<p>L6 Gaudi and His Messenger</p>	<p>文章を通して、受動態の分詞構文や if を使わない仮定法の意味や構造を理解する。ガウディと外尾さんについて書かれた文章を読み、要点を把握することができる。</p>	<p>ガウディと外尾さんについて自分の考えを書いて伝えることができる。</p>	<p>ガウディと外尾さんについて自分の考えを伝えることができるようにする。</p>
<p>NTL6 Pick Up Golden Nuggets of Opportunities</p>	<p>文章を通して、動名詞の意味や構造を理解する。成功を収めた著者のエッセイを読み、概要を把握することができる。</p>	<p>将来やりたいことを実現するためにどんな行動をとるつもりか、自分の勘替えを書いて表現することができる。</p>	<p>I never ~without ... を使って自分のことについて書く。</p>
<p>L7 Letters from a Battlefield</p>	<p>文章を通して副詞節を導く複合関係代名詞や完了不定詞の意味や構造を理解する。戦場からの手紙について必要な情報を読み取り、概要を把握することができる。</p>	<p>戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について自分の考えを伝え合うことができる。</p>	<p>戦場からの手紙について書かれた文章を読んだ感想について自分の考えを伝え合うことができるようにする。</p>

<p>NTL8 False Faces</p> <p>L10 Our Future with AI</p>	<p>文章を通して、関係詞の意味や構造を理解する。錯視の解説から始めて思い込みの危険さを理解することができる。</p> <p>文章を読み、過去についての推量や as if を使った仮定法の意味や働きを理解する。AI とその活用について書かれた文章を読み、必要な情報を読み取り概要を把握することができる。</p>	<p>間違った思い込みによって誤りをしたことがあるかについて話し合える</p> <p>人間と AI の共存のためにどのような法律が必要かについて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。</p>	<p>take ~ for granted を用いて自分のことについて書く。</p> <p>AI と今後の将来について、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるようにする。</p>
<p>備考</p>			

令和5年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科2年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
英語	英語コミュニケーションⅢ (L英コミュ)	1	教科書:LANDMARK Communication English Ⅲ[啓林館] 副教材:教科書準拠ワークブック[啓林館]

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	--

授業形態 アドバイス など	<p>Lコースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅢの授業は、2年次前期で学習した内容をさらに発展させたもので、3年次に学習する内容を先取りします。2年次前期で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅢではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。音読をしっかりしましょう。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。</p>
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒像(資質・能力)との関連	教養力:幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力:論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力:思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力:多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力:自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

後期	<p>L1 Caffeine: The World's Favorite Drug</p> <p>L2 Blood is Blood</p> <p>L3 Australia and its Creatures</p> <p>L4 The \$100,000 Salt and Pepper Shaker</p>	<p>さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点について書かれた文章を読んで、概要を把握することができる。</p> <p>輸血技術の向上に貢献した黒人科学者の生涯について説明した文章を読んで、概要を把握することができる。</p> <p>オーストラリアの地形や独自の動植物について説明した文章を読んで、概要を把握することができる。</p> <p>子ども時代の経験を基に、長い目で見た損益について述べられた文章を読んで、内容を理解することができる。</p>	<p>さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。</p> <p>輸血技術の向上に貢献した黒人科学者の生涯について意見交換ができる。また、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。</p> <p>オーストラリアの地形や独自の動植物について説明した文章を読んで、情報や考えを論理的に伝え合うことができる。</p> <p>子ども時代の経験を基に、長い目で見た損益について述べられた文章を読んで、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。</p>	<p>さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点について、自分の考えを話して伝えることができるようになる。</p> <p>輸血技術の向上に貢献した黒人科学者の生涯について、自分の考えを話して伝えることができるようになる。</p> <p>オーストラリアの地形や独自の動植物について説明した文章を読んで、自分の考えを効果的に発表することができる。</p> <p>子ども時代の経験を基に、長い目で見た損益について、自分の考えを積極的に相手に伝えることができるようになる。</p>
備考				

令和5年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科2年 シラバス

教科名	科目名 (校内名称)	単位数	教材
英語	英語コミュニケーションⅢ (R 英コミュ)	1	教科書: LANDMARK Communication English Ⅲ[啓林館] 副教材: 教科書準拠ワークブック[啓林館] NEW TREASURE ENGLISH SERIES STAGE 4 (2 会出版)

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	---

授業形態 アドバイス など	<p>R コースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅢの授業は、2年次前期で学習した内容をさらに発展させたもので、3年次に学習する内容を先取りします。2年次前期で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅢではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。音読をしっかりとしましょう。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。</p>
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。</p>	<p>場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。</p>
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	<p>教養力: 幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力: 論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力: 思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力: 多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力: 自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な評価方法	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

後期	L1 Caffeine: The World's Favorite Drug	さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点について書かれた文章を読んで、概要を把握することができる。	さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	さまざまな飲食物に含まれるカフェインの利点と欠点について、自分の考えを話して伝えることができるようになる。
	L2 Blood is Blood	輸血技術の向上に貢献した黒人科学者の生涯について説明した文章を読んで、概要を把握することができる。	輸血技術の向上に貢献した黒人科学者の生涯について意見交換ができる。また、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	輸血技術の向上に貢献した黒人科学者の生涯について、自分の考えを話して伝えることができるようになる。
	NT L9 Pitfall in Speech	文章を通して、複合関係詞と複合関係代名詞の用法を理解する。コミュニケーションにおいて、誤解を避けるために必要な言葉の選び方について必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	コミュニケーションにおいて、誤解を避けるために必要な言葉の選び方について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	take ~ for granted を用いて、自分が今まで当たり前と考えていたが、実は違うことについて、書いて伝えることができる。
	L3 Australia and its Creatures	オーストラリアの地形や独自の動植物について説明した文章を読んで、概要を把握することができる。	オーストラリアの地形や独自の動植物について説明した文章を読んで、情報や考えを論理的に伝え合うことができる。	オーストラリアの地形や独自の動植物について説明した文章を読んで、自分の考えを効果的に発表することができる。
	L4 The \$100,000 Salt and Pepper Shaker	子ども時代の経験を基に、長い目で見た損益について述べられた文章を読んで、内容を理解することができる。	子ども時代の経験を基に、長い目で見た損益について述べられた文章を読んで、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	子ども時代の経験を基に、長い目で見た損益について、自分の考えを積極的に相手に伝えることができるようになる。
	NT L10 The History of Maps	文章を通して、様々な比較表現用法を理解する。人間の世界観を反映する地図の発達と、地図の観点から整理し直した歴史について、必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	人間の世界観を反映する地図の発達と、地図の観点から整理し直した歴史について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	allow ~ to do を用いて、自分の生活において受けている恩恵について書くことができる。
備考				

令和5年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科2年 シラバス

教科名	科目名 (校内名称)	単位数	教・材
英語	論理・表現Ⅱ(論理・表現ⅡL)	2	Vision Quest English Logic and Expression II Hope 教科書準拠ワークブック(啓林館)

学習のねらい	<p>「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。</p> <p>① 日常的・社会的な話題について、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>② 日常的・社会的な話題について、事前の準備をして、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>③ 日常的・社会的な話題について、事前の準備をして、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
授業形態 アドバイス など	<p>「論理・表現Ⅰ」での学習内容をさらに深め、様々な場面や状況設定において、論理の構成や展開に意識して自分の考えを述べたり、書いて伝えたりする機会を多く設けます。それらの活動に積極的に参加し、自分自身の考えや気持ちなどを表現することが大切です。最初は単文でも徐々に多くの内容を述べたり、書いて伝えたりできるように努力してみましょう。</p>

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。</p> <p>[技能] 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。</p>	<p>目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。</p>
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	<p>教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力：論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力</p> <p>表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力</p> <p>省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な評価方法	<p>○定期考査</p> <p>○課題考査</p> <p>○小テスト</p> <p>○授業・発表内容の観察</p> <p>○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○定期考査</p> <p>○課題考査</p> <p>○小テスト</p> <p>○授業・発表内容の観察</p> <p>○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察</p> <p>○プレゼンテーションの観察</p> <p>○提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	<input type="checkbox"/> 主語の使い方 <input type="checkbox"/> 動詞の使い方 <input type="checkbox"/> 時を表す表現 <input type="checkbox"/> 助動詞 <input type="checkbox"/> 容詞・分詞・前置詞句・不定詞 <input type="checkbox"/> 関係詞 <input type="checkbox"/> 不定詞 <input type="checkbox"/> 話法 <input type="checkbox"/> 仮定法 <input type="checkbox"/> 数量を表す表現 <input type="checkbox"/> 比較表現 <input type="checkbox"/> 否定表現	<input type="checkbox"/> 主語になる名詞句、形式主語などの概念を理解し、適切な文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 自動詞と他動詞を使い分けたり、群動詞を適切に用いたりして文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 名詞と冠詞を適切に使用し、正しい英文で表現する。 <input type="checkbox"/> 時を表すために、適切な動詞の形や文の構造を用いる。 <input type="checkbox"/> 助動詞を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 主語と動詞の呼応・時制の一致を適切に判断し表現する。 <input type="checkbox"/> 形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 関係代名詞や関係副詞を用いた文の構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 英語特有の情報の流れを学び、自然な英文を意識して表現する。 <input type="checkbox"/> 不定詞や分詞を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 話法や様々な伝達表現を用いて適切な文の形や構造を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 条件や仮定を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 数量を表す表圖や文の構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 原級・比較級・最上級を表す表圖や文の構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 部分否定、準否定などの否定を表す表圖や文の構造を理解し、文を組み立てる。	<input type="checkbox"/> 文と文のつながりを意識して書いて伝える。 <input type="checkbox"/> 留学生のために開催するイベントについて話し合った内容を英文で書いてまとめる。 <input type="checkbox"/> 自分の好きなアスリートと実績について、パラグラフの構成に意識して詳しく書いて伝える。 <input type="checkbox"/> 高校生のソーシャルメディアの使用について情報を整理し、関心のある環境問題に対する意見や主張を話して伝える。 <input type="checkbox"/> 環境問題の原因とその影響について情報を整理し、関心のある環境問題に対する意見や主張を話して伝える。 <input type="checkbox"/> 外国人観光客が訪れる日本の場所について、情報を調べて、出店や引用を示して、自身の主張や理由の根拠を詳しく書いて伝える。 <input type="checkbox"/> 英語の導入の賛否に関する記事を読んで、文章全体の概要と構成を理解し、まとめる。 <input type="checkbox"/> 働き方についての話を聞いて、自分が働きたい職場環境について、ペアやグループで議論する。 <input type="checkbox"/> 仮定の状況を想定し、自分の考えや主張をまとめたり、クラスメートと話して伝え合ったりして、スピーチの原稿を作成する。 <input type="checkbox"/> AI との生活で大切な事について、自分の考えやその根拠を示す情報を調べて、クラスに話して伝えるために、プレゼンテーションの原稿を作成する。 <input type="checkbox"/> 睡眠時間の賛否という議題について、意見を考え、詳しく書いてまとめる。 <input type="checkbox"/> チョコレート販売について、自分の考えや主張を考え、根拠となる資料を示しながら、グループで話して伝え合う。	<input type="checkbox"/> 将来の目標について書かれた文章を読んで、適切な主語の使い方を理解する。 <input type="checkbox"/> 学校生活について書かれた文章を読んで、適切な動詞の使い分けについて理解する。 <input type="checkbox"/> スポーツの歴史について書かれた文章を読んで、時を表す表現の概念を理解する。 <input type="checkbox"/> 情報化時代で気を付けるべき点について書かれた文章を読んで、様々な助動詞の概念と文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 環境問題について書かれた文章を読んで、名詞を修飾して情報を追加する様々な文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 異文化理解の重要性について書かれた文章を読んで、関係詞によって情報が追加された文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 言語教育について書かれた文章を読んで、語句や文を修飾して情報を追加する様々な文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 日本の社会の問題点について書かれた文章を読んで、直接話法と間接話法を用いて表した文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 願望について書かれた文章を読んで、仮定の概念と文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 科学技術について書かれた文章を読んで、数量を表す表現の概念と文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 健康とストレスについて書かれた文章を読んで、比較を表す表現を用いた文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> ビジネスについて書かれた文章を読んで、否定を表す表現を用いた文の構造を理解する。
備考				

令和5年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科2年 シラバス

教科名	科目名 (校内名称)	単位数	教材
英語	論理・表現Ⅱ(論理・表現ⅡR)	2	Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope 教科書準拠ワークブック(啓林館)

学習のねらい	<p>「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。</p> <p>① 日常的・社会的な話題について、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>② 日常的・社会的な話題について、事前の準備をして、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>③ 日常的・社会的な話題について、事前の準備をして、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p>
授業形態 アドバイス など	<p>「論理・表現Ⅰ」での学習内容をさらに深め、様々な場面や状況設定において、論理の構成や展開に意識して自分の考えを述べたり、書いて伝えたりする機会を多く設けます。それらの活動に積極的に参加し、自分自身の考えや気持ちなどを表現することが大切です。最初は単文でも徐々に多くの内容を述べたり、書いて伝えたりできるように努力してみましょう。</p>

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。</p> <p>[技能] 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。</p>	<p>目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。</p>
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	<p>教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力：論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力</p> <p>表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力</p> <p>省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な評価方法	<p>○定期考査</p> <p>○課題考査</p> <p>○小テスト</p> <p>○授業・発表内容の観察</p> <p>○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○定期考査</p> <p>○課題考査</p> <p>○小テスト</p> <p>○授業・発表内容の観察</p> <p>○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察</p> <p>○プレゼンテーションの観察</p> <p>○提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	<input type="checkbox"/> 主語の使い方 <input type="checkbox"/> 動詞の使い方 <input type="checkbox"/> 時を表す表現 <input type="checkbox"/> 助動詞 <input type="checkbox"/> 容詞・分詞・前置詞句・不定詞 <input type="checkbox"/> 関係詞 <input type="checkbox"/> 不定詞 <input type="checkbox"/> 話法 <input type="checkbox"/> 仮定法 <input type="checkbox"/> 数量を表す表現 <input type="checkbox"/> 比較表現 <input type="checkbox"/> 否定表現	<input type="checkbox"/> 主語になる名詞句、形式主語などの概念を理解し、適切な文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 自動詞と他動詞を使い分けたり、群動詞を適切に用いたりして文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 名詞と冠詞を適切に使用し、正しい英文で表現する。 <input type="checkbox"/> 時を表すために、適切な動詞の形や文の構造を用いる。 <input type="checkbox"/> 助動詞を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 主語と動詞の呼応・時制の一致を適切に判断し表現する。 <input type="checkbox"/> 形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 関係代名詞や関係副詞を用いた文の構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 英語特有の情報の流れを学び、自然な英文を意識して表現する。 <input type="checkbox"/> 不定詞や分詞を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 話法や様々な伝達表現を用いて適切な文の形や構造を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 条件や仮定を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 数量を表す表態や文の構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 原級・比較級・最上級を表す表態や文の構造を理解し、文を組み立てる。 <input type="checkbox"/> 部分否定、準否定などの否定を表す表態や文の構造を理解し、文を組み立てる。	<input type="checkbox"/> 文と文のつながりを意識して書いて伝える。 <input type="checkbox"/> 留学生のために開催するイベントについて話し合った内容を英文で書いてまとめる。 <input type="checkbox"/> 自分の好きなアスリートと実績について、パラグラフの構成に意識して詳しく書いて伝える。 <input type="checkbox"/> 高校生のソーシャルメディアの使用について情報を整理し、関心のある環境問題に対する意見や主張を話して伝える。 <input type="checkbox"/> 環境問題の原因とその影響について情報を整理し、関心のある環境問題に対する意見や主張を話して伝える。 <input type="checkbox"/> 外国人観光客が訪れる日本の場所について、情報を調べて、出店や引用を示して、自身の主張や理由の根拠を詳しく書いて伝える。 <input type="checkbox"/> 英語の導入の賛否に関する記事を読んで、文章全体の概要と構成を理解し、まとめる。 <input type="checkbox"/> 働き方についての話を聞いて、自分が働きたい職場環境について、ペアやグループで議論する。 <input type="checkbox"/> 仮定の状況を想定し、自分の考えや主張をまとめたり、クラスメートと話して伝え合ったりして、スピーチの原稿を作成する。 <input type="checkbox"/> AI との生活で大切な事について、自分の考えやその根拠を示す情報を調べて、クラスに話して伝えるために、プレゼンテーションの原稿を作成する。 <input type="checkbox"/> 睡眠時間の賛否という議題について、意見を考え、詳しく書いてまとめる。 <input type="checkbox"/> チョコレート販売について、自分の考えや主張を考え、根拠となる資料を示しながら、グループで話して伝え合う。	<input type="checkbox"/> 将来の目標について書かれた文章を読んで、適切な主語の使い方を理解する。 <input type="checkbox"/> 学校生活について書かれた文章を読んで、適切な動詞の使い分けについて理解する。 <input type="checkbox"/> スポーツの歴史について書かれた文章を読んで、時を表す表現の概念を理解する。 <input type="checkbox"/> 情報化時代で気を付けるべき点について書かれた文章を読んで、様々な助動詞の概念と文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 環境問題について書かれた文章を読んで、名詞を修飾して情報を追加する様々な文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 異文化理解の重要性について書かれた文章を読んで、関係詞によって情報が追加された文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 言語教育について書かれた文章を読んで、語句や文を修飾して情報を追加する様々な文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 日本の社会の問題点について書かれた文章を読んで、直接話法と間接話法を用いて表した文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 願望について書かれた文章を読んで、仮定の概念と文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 科学技術について書かれた文章を読んで、数量を表す表現の概念と文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> 健康とストレスについて書かれた文章を読んで、比較を表す表現を用いた文の構造を理解する。 <input type="checkbox"/> ビジネスについて書かれた文章を読んで、否定を表す表現を用いた文の構造を理解する。
備考				

令和5年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科2年 シラバス

教科名	科目名(校内名称)	単位数	教材
英語	ABLE α	1	Jet Reading 英語速読テスト Level 2 (数研出版) Speaking Gym Basic (数研出版)

学習のねらい	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。</p> <p>①外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能)</p> <p>②場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>③外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)</p>
--------	--

授業形態 アドバイス など	<p>普通科文系の選択科目です。予習を前提とせず、その場で辞書を使用せずに速読長文を初見読みし、実践的な読解力を育成します。また、長文の主題に関して、ペア・ワークで意見交換をすることによって、表現力と発信力を高めますので、積極的に自分の考えを英語で話すようにして下さい。同様に、長文の主題に関する、パラグラフ・ライティングにも挑戦します。4技能をバランス良く伸ばしていきます。</p>
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	<p>外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。</p>	<p>場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。</p>
育てたい生徒像 (資質・能力) との関連	<p>教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能</p>	<p>思考力：論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力</p>	<p>協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力</p>
主な評価方法	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○パフォーマンス・テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検</p>	<p>○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検</p>

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Activity 1 Lesson 1 (社会/説明文) Activity 2 Lesson 2 (生活/ウェブサイト) Activity 3 Lesson 3 (歴史/伝記) Activity 4 Lesson 4 (スポーツ/説明文) Activity 5 Lesson 5 (動物/説明文) Activity 6 Lesson 6 (生活/広告) Activity 7 Lesson 7 (教育/会話)	【聞くこと】 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的话题について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・ジェスチャーなど非言語的コミュニケーション手段の役割や使い方を理解している。 ・日常的话题について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している 【読むこと】 ・読んだ内容について概要や要点を把握するこ	【聞くこと】 ・理解できないとき、確認したり、繰り返しや説明を求めたりしている。 ・日常的话题について、英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとするのを正確に理解することができる。 ・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ることができる。 ・聞いた内容について正しく理解することができる。 【読むこと】 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	【聞くこと】 ・「聞くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・相手を見て話を聞いたり、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心を持っている。 ・聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで応答したりしている。 ・聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。

Activity 8
Lesson 8 (科学/評論)

Activity 9
Lesson 9 (生活/エッセイ)

Activity 10
Lesson 10 (社会/ブログ)

Activity 11
Lesson 11 (文化/説明文)
Lesson 12 (環境/説明文)

Activity 12
Lesson 13 (歴史/物語)
Lesson 14 (仕事/メール)

Activity 13
Lesson 15 (文化/評論)
Lesson 16 (教育/レポート)

Activity 14
Lesson 17 (医療/評論)
Lesson 18 (社会/説明文)
Lesson 19 (科学/説明文)

Activity 15
Lesson 20 (歴史/説明文)
Lesson 21 (社会/グラフ)
Lesson 22 (文化/説明文)

とができる。

- ・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。
- ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。
- ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。
- ・文字や符号を識別する知識を身に付けている。
- ・場面や状況に応じた表現を知っている。
- ・文章の流れについての知識がある。
- ・「読むこと」に用いられる語句や文法を知っている。
- ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。
- ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。

【話すこと】

- ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。
- ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。
- ・場面や状況に応じた表現を知っている。
- ・「話すこと」に用いられる語句や文法を知っている。
- ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。
- ・ジェスチャーなど非言語的コミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。
- ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。

【書くこと】

- ・「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
- ・間違うことを恐れず自分の考えなどを書いている。
- ・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書

日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。

- ・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。

日常的な話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。

【話すこと】

- ・日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。
- ・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。
- ・文法に従って正しく話すことができる。
- ・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。
- ・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に話すことができる。
- ・伝えたい内容、場面、相手、目的などに応じて語句や表現を選択し適切に話すことができる。
- ・相手の発話に対して適切に応答することができる。
- ・場面や目的に応じて適切な速さや声の大きさで話すことができる。
- ・相手の理解を確認しそれに応じて話すことができる。

【書くこと】

- ・日常的な話題について、得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。
- ・文法に従って正しく書くことができる。
- ・伝えたい情報や考えなどを正確に書くことができる。
- ・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に書くことができる。
- ・内容を整理し、必要な分量を書くことができる。

【読むこと】

- ・「読むこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
- ・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもっている。
- ・読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。
- ・必要に応じて辞書などを活用している。
- ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
- ・音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。

【話すこと】

- ・「話すこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
- ・間違うことを恐れず自分の考えなどを話している。
- ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って話している。
- ・関心をもって質問している。
- ・ペア・ワークやグループ・ワークなどにおいて積極的に話し合ったり意見の交換をしている。
- ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
- ・うまく言えないことがあっても、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。
- ・つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。

【書くこと】

- ・「書くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
- ・間違うことを恐れず自分の考えなどを書いている。
- ・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。
- ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。
- ・必要に応じて辞書などを

		<p>き直したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容、場面、読み手、目的などに応じて、語句や表現を選択し適切に書くことができる。 ・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。 	<p>活用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。
備考				